

# 決算説明資料

2027年3月期 第1四半期（連結）

技術を<sup>おしだ</sup>押し出し、未来へ ワクワク

2026年8月7日

**フクビ化学工業株式会社**

【東証スタンダード・名証メイン】

証券コード：7871



# 事業概要

## 建材事業

### 住宅・非住宅分野

外装建材、内装建材、床関連材、システム建材等の開発・製造・販売



### 住宅設備・車両・インフラ分野 など

## CSE事業

ユーザーのニーズに応えるOEM製品・ODM製品等の開発・製造・販売



## フクビのコア技術

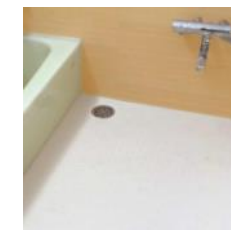
複雑な断面形状をもつ製品を成形する「異形押出成形技術」

樹脂の「配合・成形・加工」を一貫して行う開発型メーカー

高透明・低反射を実現する「特殊コーティング技術」



反射防止付樹脂シートを主とする機能性コーティング製品の開発・製造・販売



海外市場向けの外装建材、内装建材等の開発・製造・販売

## 精密事業

### モビリティ分野 など

### 海外市場向け住宅分野など

## グローバル事業

# 決算ハイライト

## 2027年3月期 第1四半期 連結業績 (2026年4－6月)

- **売上高** 107億77百万円 (前年同期比**11.9%増**)  
**売上総利益** 32億71百万円 (前年同期比 **9.9%増**)  
・ 製造原価の低減、生産効率の改善取り組みによる売上総利益の増益
- **営業利益** 5億52百万円 (前年同期比**43.8%増**)  
**経常利益** 6億98百万円 (前年同期比**45.2%増**)  
**四半期純利益** 5億 1百万円 (前年同期比**50.5%増**) ※親会社株主に帰属する純利益

## 2027年3月期 連結業績予想

中東情勢悪化により原油価格の急騰や安定的な原材料調達への懸念などがあつたことから未定としておりました。依然として懸念が残る状況ではありますが、足元の業況や現時点で入手可能な情報・予測等に基づき、業績予想を算定、公表いたしました。

## 株主還元

- 直近に公表されている年間配当金予想**31円**から**修正無し**。
- **650,000株を上限とした自己株式取得**を2026年8月10日に実施予定。 ※  
※詳細は2026年8月7日に開示を行いました「自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ」をご覧ください。

# 2027年3月期 第1四半期決算概要

- 成長・高付加価値分野へのリソース配分の見直しなど収益力強化に向けた全社的施策の推進、適切なプライシングの実施、安定供給に努めた結果、売上高は前年同期比**11.9%増**。
- 原材料等の調達コストの上昇に対して、製造原価の低減、生産効率の改善に取り組み売上総利益は前年同期比**9.9%増**。

(単位：百万円、%)

|                  | 2026年3月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 増減     |
|------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高              | 9,629             | 10,777            | 11.9 ↑ |
| 売上総利益            | 2,976             | 3,271             | 9.9 ↑  |
| 営業利益             | 384               | 552               | 43.8 ↑ |
| 経常利益             | 481               | 698               | 45.2 ↑ |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 333               | 501               | 50.5 ↑ |

# 経営指標の推移

(単位：倍、%)

|        | 2023年3月期 | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期 |
|--------|----------|----------|----------|----------|
| PBR    | 0.34     | 0.5      | 0.44     | 0.44     |
| PER    | 7.9      | 10.57    | 11.15    | 10.36    |
| ROIC   | 3.7      | 3.3      | 3.8      | 3.4      |
| ROE    | 4.5      | 4.9      | 4.0      | 4.4      |
| D/Eレシオ | 0.028    | 0.034    | 0.030    | 0.027    |

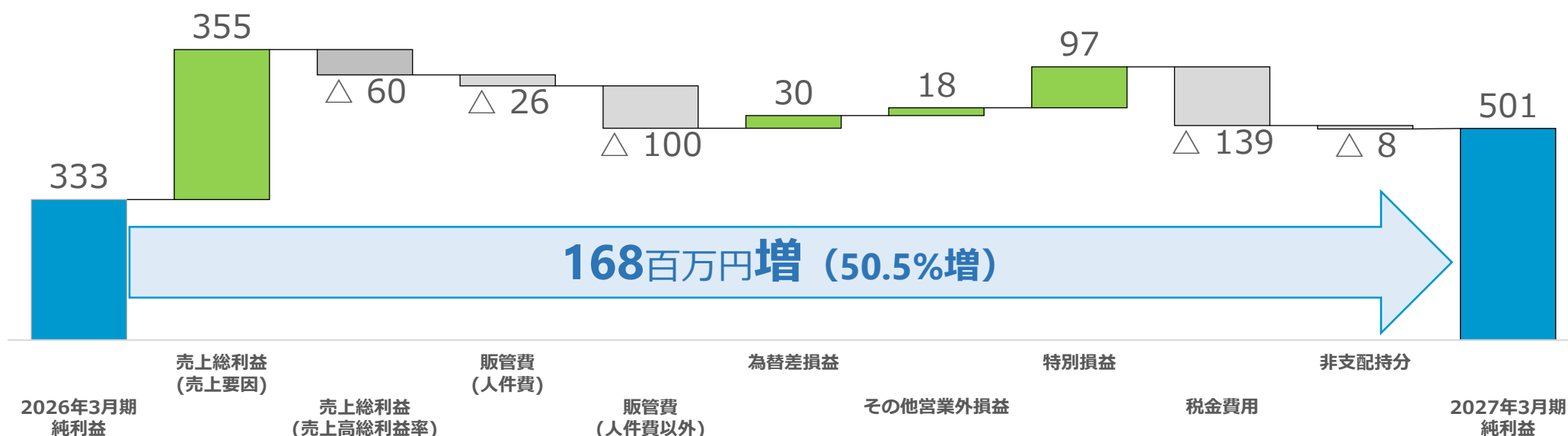
| 2026年3月期<br>1Q累計 | 2027年3月期<br>1Q累計 | 増減      |
|------------------|------------------|---------|
| 0.42             | <b>0.45</b>      | 0.03 ↑  |
| 11.64            | <b>8.93</b>      | 2.71 ↓  |
| 3.6              | <b>4.3</b>       | 0.7 ↑   |
| 3.6              | <b>5.0</b>       | 1.4 ↑   |
| 0.030            | <b>0.024</b>     | 0.006 ↓ |

※各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

# 純利益前年比較 増減要因

- 売上総利益：売上要因で**355百万円増**。一方で、原材料等の調達コスト上昇に対して、製造原価低減や生産効率改善に努めたものの、売上高総利益率は悪化し、60百万円下押し。
- 特別損益：固定資産売却益および投資有価証券売却益のプラス要因により**97百万円増**。

(単位：百万円)

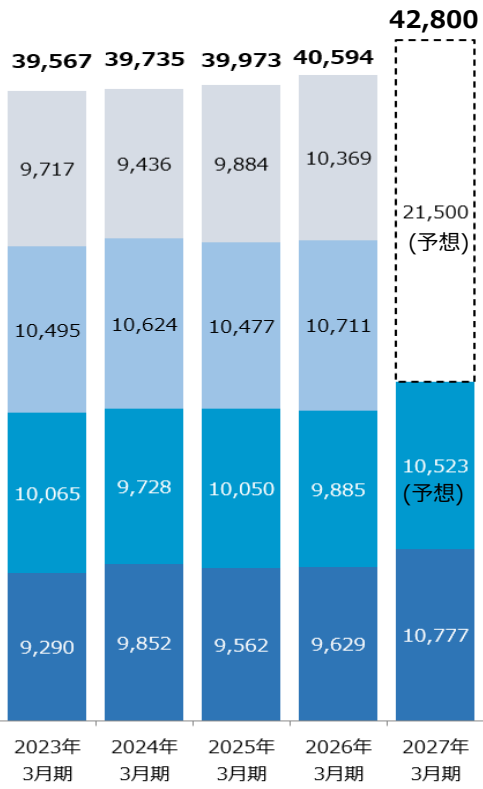


# 四半期ごと業績推移と通期業績予想

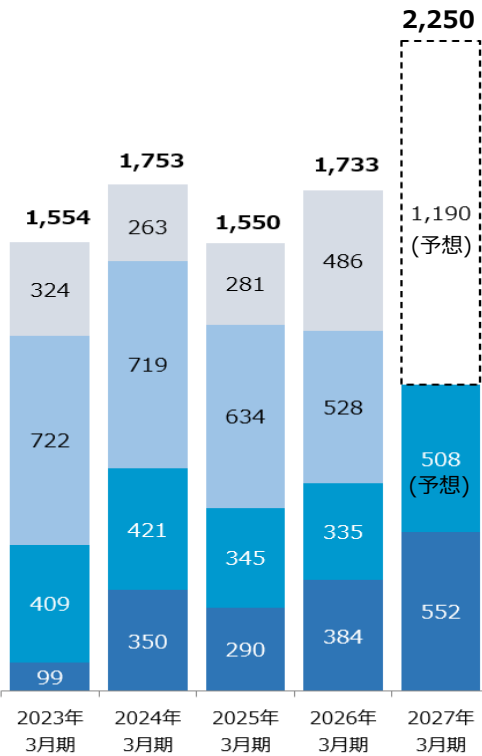
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

(単位：百万円)

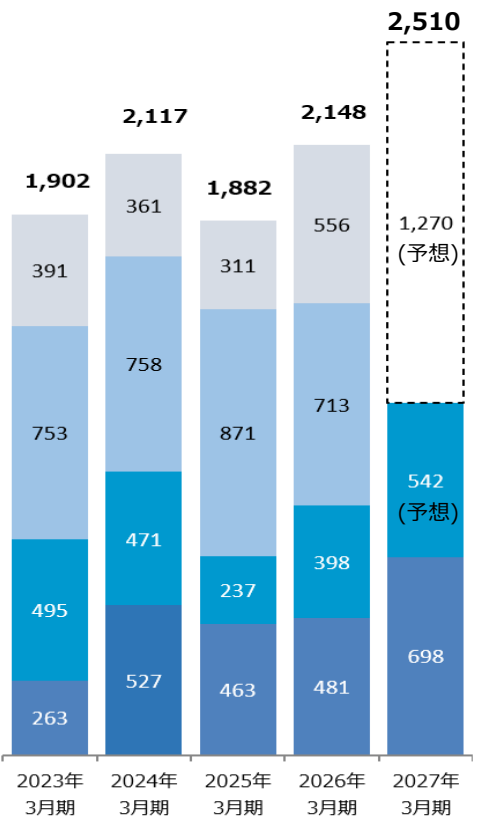
売上高推移



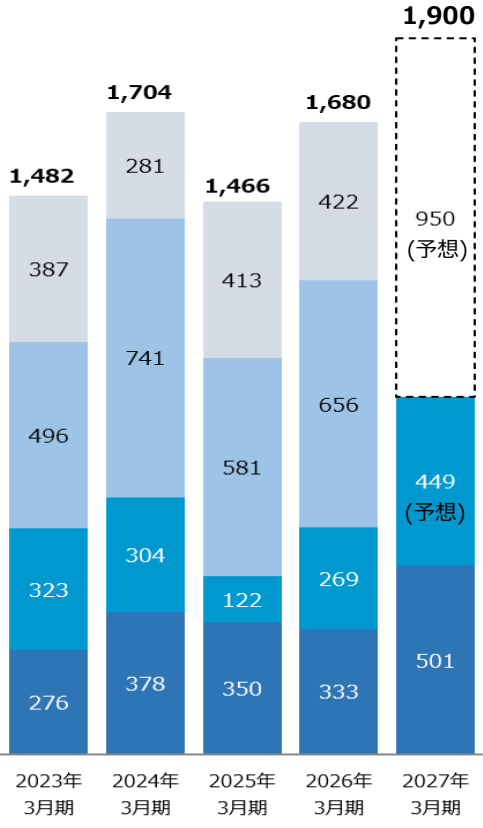
営業利益推移



経常利益推移



親会社株主に帰属する  
当期純利益推移



# セグメント別の概況（建材事業）

- 中東情勢の悪化に伴うサプライチェーンの混乱や建材各社の供給不足・制限、価格高騰への先行き不安による駆け込み需要に加え、原材料高騰等の影響を一定程度吸収するため迅速かつ適切な価格転嫁を進めたことにより売上高は前年同期比 **5.9%増**、営業利益は **同17.2%増**。
- 既存領域である防水部材や内装建材が好調に推移し売上を牽引したほか、成長領域においても材料不足等の影響はあったものの高性能断熱材『フェノバボード』は前年同期比**26.7%増**と大きく伸長。

（単位：百万円、%）

|       | 2026年3月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 増減     |
|-------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高   | 6,104             | <b>6,466</b>      | 5.9 ↑  |
| 売上総利益 | 2,292             | <b>2,450</b>      | 6.9 ↑  |
| 営業利益  | 862               | <b>1,011</b>      | 17.2 ↑ |



高性能断熱材  
『フェノバボード』



防水部材  
『ウェザータイト』

# セグメント別の概況（CSE事業）

- 床材が復調し前年同期比**12.7%増**と売上高を大きく伸ばしたことに加え、住宅内装部材、浴室OEM部材の売上増加により、窓枠、冷蔵機器向け部材の売上減少分をカバーし、売上高前年同期比**8.5%増**。
- 利益面では、原材料価格の高騰を受け価格改定を行ったが、高騰の影響を吸収しきれず減益。

（単位：百万円、%）

|       | 2026年3月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 増減     |
|-------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高   | 2,541             | <b>2,756</b>      | 8.5 ↑  |
| 売上総利益 | 369               | <b>338</b>        | 8.4 ↓  |
| 営業利益  | 141               | <b>115</b>        | 18.5 ↓ |



車両向け部材 マイクロバスの  
クーラーダクト など



床材

# セグメント別の概況（精密事業）

- 車載向け部材の売上が大きく伸長したほか、非車載分野においてもレンズカバー製品が売上を牽引したことにより、事業全体では売上高が前年同期比 **121.7%増**。
- 売上増となる中、製造原価や経費（人件費除く）を抑え、**収益性が大きく改善**。

（単位：百万円、%）

|       | 2026年3月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 増減      |
|-------|-------------------|-------------------|---------|
| 売上高   | 357               | <b>793</b>        | 121.7 ↑ |
| 売上総利益 | 79                | <b>212</b>        | 167.3 ↑ |
| 営業利益  | 36                | <b>157</b>        | 337.7 ↑ |



車載分野  
メーターカバー、  
ヘッドアップディスプレイ など



非車載分野  
電子機器（カメラレンズカバー） など

# セグメント別の概況（グローバル事業）

- ASEANや米国での建材ビジネスが順調に推移し、また、円安が進行した結果、増収に寄与。
- 利益面では、各現地法人で取引先やアイテム別の採算管理を進めるとともに、原価や販管費（人件費除く）を抑えた結果、赤字が縮小。

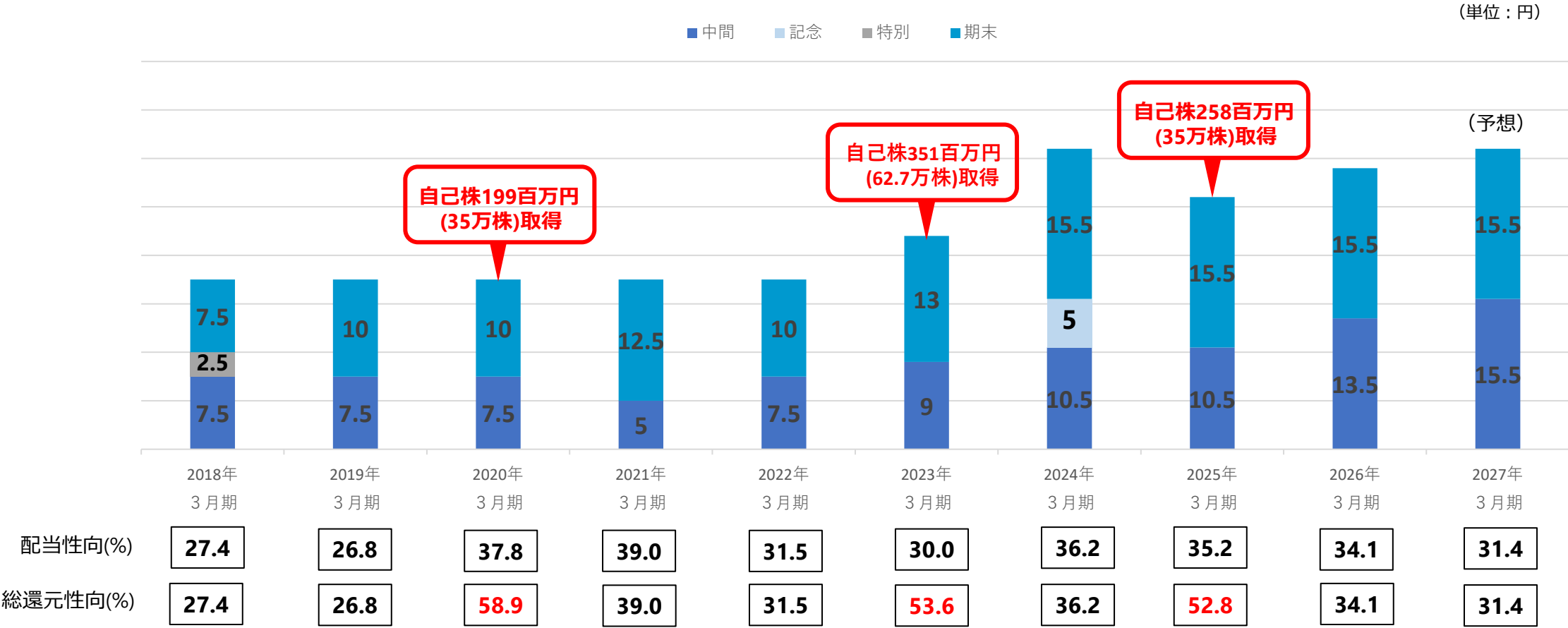
（単位：百万円、％）

|       | 2026年3月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 増減    |
|-------|-------------------|-------------------|-------|
| 売上高   | 857               | 901               | 5.2 ↑ |
| 売上総利益 | 223               | 242               | 8.7 ↑ |
| 営業利益  | △16               | △8                | —     |



# 配当の推移

➤ **累進配当**を導入し、2期連続**増配**となる1株当たり年間配当金**31円**（前期比2円増）を予定。



# 貸借対照表

➤ 自己資本 402億30百万円、自己資本比率 72.5%

(単位：百万円)

|         |      | 2026年3月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 主な要因                                |
|---------|------|-------------------|-------------------|-------------------------------------|
| 資産      | 流動資産 | 33,989            | 33,941            | 現金及び預金が2,306減、売上債権が1,926増、棚卸資産が171増 |
|         | 固定資産 | 20,964            | 21,525            | 建設仮勘定が770増                          |
| 資産合計    |      | 54,954            | 55,465            |                                     |
| 負債      | 流動負債 | 11,075            | 11,406            | 仕入債務が158減、賞与引当金が365増                |
|         | 固定負債 | 3,289             | 3,132             | 長期リース債務が45減、繰延税金負債が114減             |
| 負債合計    |      | 14,364            | 14,538            |                                     |
| 純資産合計   |      | 40,590            | 40,927            | 利益剰余金が298増、為替換算調整勘定が34増             |
| 負債純資産合計 |      | 54,954            | 55,465            |                                     |

# 損益計算書

(単位：百万円、%)

| 科目               | 2026年 3 月期<br>第1四半期 | 2027年3月期<br>第1四半期 | 増減      |
|------------------|---------------------|-------------------|---------|
| 売上高              | 9,629               | 10,777            | 11.9 ↑  |
| 売上原価             | 6,653               | 7,506             | 12.8 ↑  |
| 売上総利益            | 2,976               | 3,271             | 9.9 ↑   |
| 販売費及び一般管理費       | 2,592               | 2,719             | 4.9 ↑   |
| 営業利益             | 384                 | 552               | 43.8 ↑  |
| 営業外収益            | 133                 | 156               | 17.3 ↑  |
| 営業外費用            | 36                  | 10                | 72.2 ↓  |
| 経常利益             | 481                 | 698               | 45.2 ↑  |
| 特別利益             | 0                   | 121               | —       |
| 特別損失             | 0                   | 24                | —       |
| 法人税等             | 137                 | 276               | 101.5 ↑ |
| 四半期純利益           | 343                 | 519               | 51.3 ↑  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 333                 | 501               | 50.5 ↑  |

# 2027年3月期 第1四半期のトピックス

## R&D

### 新製品

#### 公共空間向けブランド『NEURAUM』の展開強化

『NEURAUM』に新たな2製品を追加発売。公共空間向け製品のラインナップを拡充し、まちづくり分野における **新たな価値創造と事業展開を推進。**



### 新製品

#### 高意匠「ルーバーKKAA」を発売

福井県産間伐材と再生プラスチックを活用した再生木『プラスッド』の新製品「ルーバーKKAA」を発売。(デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所)  
**デッキとあわせたシームレスな建築空間を提案。**



### 新製品

#### 景観価値と施工効率を高める新製品を発売

ソーラーLED照明「ルメナイト」「ラヨビア」に温かみのある新色「電球色」を追加するとともに、コンクリート打設不要の「ラヨビア用乾式基礎」を発売。景観向上と施工省力化の両面から **提案力を強化。**



### 産学官連携

#### 断熱改修実証結果 成果を報告

南越前町、福井大学と連携し、廃校を活用した断熱改修実証を開始後、高性能断熱材や樹脂内窓の検証を進め、中間報告では快適性向上や空調使用量削減などの成果を確認しました。短工期で施工可能な改修手法として、**既存建築物の省エネと快適な学習環境の実現に貢献。**

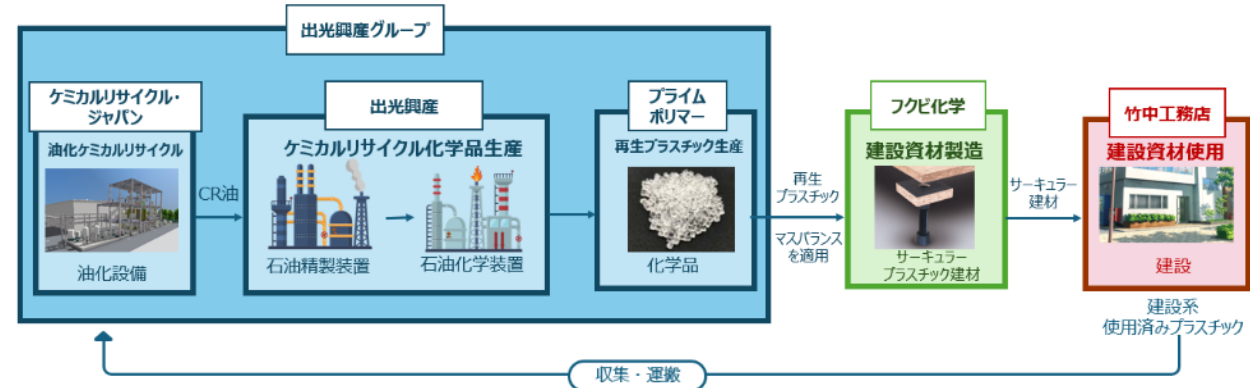
# 2027年3月期 第1四半期のトピックス

## 成長戦略

### 資源循環

#### 5社連携で再生プラスチック資源循環モデルを構築

出光興産株式会社、株式会社竹中工務店、ケミカルリサイクル・ジャパン、株式会社プライムポリマーと共同で、使用済みプラスチックを活用した**再生プラスチックの製造と建設資材への実装に成功。**



### 成長投資

#### フクビ岡山第2生産拠点建設に向け20億円のシンジケートローンを契約

当社が100%出資する連結子会社であるフクビ岡山株式会社は、第2生産拠点の建設および設備導入に向けた総額20億円のシンジケートローン契約を締結。生産能力の拡充と事業成長を支える投資資金を確保し、**今後の事業基盤強化を推進します。**



より詳細な情報は当社WEBサイトをご参照ください。

## 当社ホームページ

<https://www.fukuvi.co.jp/>



## 中期経営計画/企業価値向上2030～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

<https://www.fukuvi.co.jp/ir/strategy>



本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。  
 実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。  
 本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。  
 当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進部 (0776-38-8415)